



築 25 年あまりの勤労福祉センター「よりの会館」



寄居の次代を担う子どもたち



「赤ちゃんの駅」は、このステッカーが目印です



町の豊富な人材を活かしたい

住民生活にかかわる問題等について、議員が政策提案も含めて行っのが一般質問です



本間登志子 議員

よりの会館 3 階に エアコンを設置して

現状調査の上、適切に対応します

問 ことしの夏は異常気象などにより、特に厳しい猛暑でした。また、全国的にも熱中症による被害が騒がれました。

勤労福祉センター「よりの会館」は 3 階も利用者が大変多くありますが、空調設備（エアコン）がありません。建築当時は 1 階、2 階にエアコンがあり、大変進んだ建物でしたが、築 25 年あまり経過した今の時代、公共施設にはほとんどエアコンが設置されており、また、町民の健康上からもエアコンは必要と考えます。

市街地の敬老会は毎年よりの会館で行われています。お年寄りが顔を赤くし、汗を流している姿が見られます。よりの会館 3 階にエアコンの設置をぜひお願いします。多くの町民の要望であります。町長の考えを伺います。

答 現状を調査した上で、適切に対応させていただきます。

問 適切な対応をするため、できるだけ早期に現場を見ていただきたいのですが、いかがですか。

答 できるだけ早い機会に現場を確認したいと思います。

- ▼その他の質問
- ・町に対する取り組み姿勢について
- ・ひとり暮らしの高齢者の安全システムについて



田母神節子 議員

就学援助制度の拡充についての考えは？

複数の補助や事業を実施中。直ちに拡充はしません

問 「子どもの貧困」は、生活基盤である家族の経済的貧困を土壌にあらわれます。子どもがこれから人生を歩む上で、勇気をはぐくみ、困難に立ち向かうエネルギーの源としての要素を持っている憲法や権利条約では、健康で文化的な最低限度の生活が保障されなければなりません。まず、就学援助制度の実態と拡充について伺います。

答 私立幼稚園奨励費、要保護児童生徒就学援助費等を実施しています。直ちに拡充する予定はありません。

問 生活保護制度の最大限活用と、次世代育成支援政策、要保護対策等の地域協議会の活用について伺います。

答 18 歳未満の子どもを養育しているか等、的確に把握した上で行います。地域協議会は積極的に活用していきます。

問 当町の子ども貧困の実態と、実態調査は。また、子ども貧困を食い止めることについて伺います。

答 国が公表したことは認識していますが、当町の実態調査はありません。経済的負担軽減策や相談体制の一層の充実、周知に努めてまいります。

問 保育所改革に対して、保育所活用案の具体化と、入所基準の見直しについて伺います。

答 子ども・子育て新システムの動向を見守ります。

問 子どもの生活と権利保障条例の制定について伺います。

答 子育て世帯に対して経済的負担軽減等の実施、充実を図りながら調査研究していきます。

- ▼その他の質問
- ・新生寄居町チャレンジプラン 2006 最終年に当り

子どもの貧困

よりの会館



佐藤理美 議員

「赤ちゃんの駅」設置事業、町の取り組みを伺う

設置可能な箇所に、折りたたみ式おむつ交換台などを設置

問 「赤ちゃんの駅」は、2006 年東京都板橋区が子育て支援策として、授乳やおむつ交換ができる設備のある公共施設を指定したのが始まりです。埼玉県では、子育て支援の充実を図るため、国の補助金を活用して、公共施設等に 4,000 カ所設置するほか、民間施設 1,500 カ所の設置を目指す考えです。そこで、子育てが安心して外出できる環境づくりのため、町としての取り組みについて伺います。

答 補正予算を計上し、新たに設置可能な箇所に、「赤ちゃんの駅」として折りたたみ式おむつ交換台などを設置していきます。

問 「赤ちゃんの駅」設置の周知・徹底の方法について伺います。

答 設置後は、設置箇所を含め「赤ちゃんの駅」として利用していただくよう、県から配布されるステッカーや広報等により、周知したいと考えています。

問 民間施設への設置について、町の考えを伺います。

答 公共施設だけでなく、デパートやスーパー等の民間施設にも設置されることにより、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりが推進されるものと考えています。また、県のホームページ等で広く情報提供を行っています。

- ▼その他の質問
- ・熱中症対策について



佐野千賀子 議員

文化・芸術活動活性化に、アーティスト・バンク創設を

「まちづくり出前講座」を引き続き実施していきます

問 アーティスト・バンクとは、町内在住で活動しているアーティストに文化団体に登録していただき、催し物や行事の際に町民の要請に応じて紹介したり、小中学校に講師として派遣するアウトリーチ事業などに活躍していただくものです。文化活動の一層の活性化に寄与するものと考えますが、取り組みについて伺います。

答 町では分野を問わず、優れた知識・技能・経験・文化・芸術等にたけている方を「寄居生活学の達人」として登録。町民等の要請に応じ、講師として派遣する「まちづくり出前講座」を実施しています。引き続きこの事業を行っていきたく考えています。

問 現在登録されている方の中には、書家・画家・写真家・音楽家・ミュージシャン等が少なく、そうした方々から「町のお役に立ちたい」「何かできることはないか」等のお声をいただいています。

自薦・他薦を問わず募集の間口を広げ、広く周知を図り、町のさまざまな行事などで紹介したり、発表の場を提供してはどうかと考えます。

町長の「町民のパワーが発揮できるようにする仕組みをつくる」との基本姿勢ののっとり、「アーティスト・バンク」を創設すべきと考えますが、いかがですか。

答 今後、広報以外にも周知を図る工夫をし、広く募集をしていきたいと考えています。

- ▼その他の質問
- ・新町長の町政運営における基本姿勢について

アーティスト・バンク

赤ちゃんの駅